

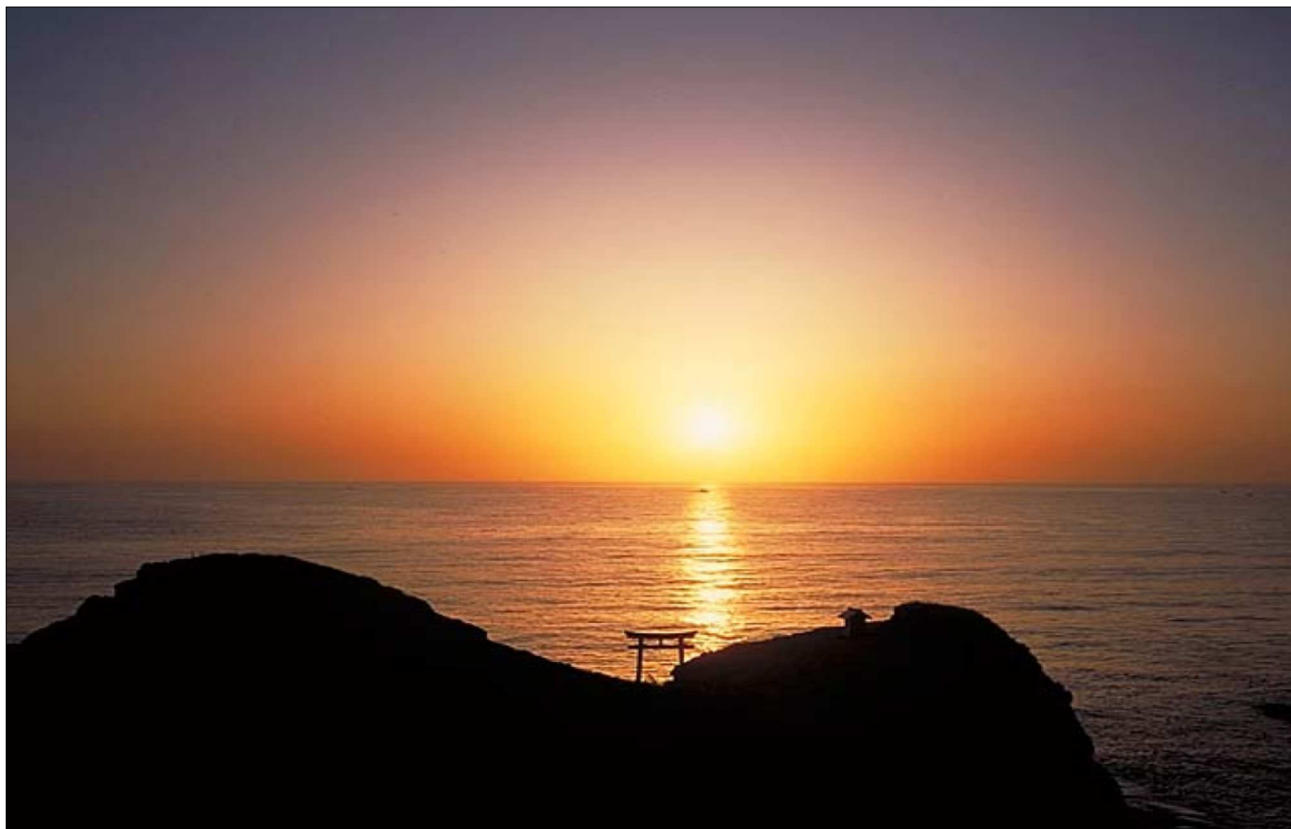
新産会



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 山田茂樹
編集責任者 他力博
平成20年1月1日発行

共に国際社会を生き抜く、一期一会

<http://www.shinsankai.gr.jp>



新年子年を迎えて

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

2007年は「新産会」今年度のスローガンであります、「共に国際社会を生き抜く、一期一会」のもと、激動の年でありました。

2008年は平成20年でありますから正に節目の年に当たると思います、サブプライムに端を発する金融不安、原油や原材料価格の上昇に業績を圧迫される中小零細の業種が増える中、私共が生き抜く為の方策を講ずることが出来るかに懸かっているかと思えます。今年も会員相互の「一期一会の出会い」と情報の共有、そして連携を深めて参りたく思いますので何卒宜しくお願いを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



会長 山田茂樹

新春を迎えて

愛知県知事 神田真秋

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと
思います。

いま愛知は、好調な製造業などに支えられ、わが国の産業経済をけん引し、力強い成長を続けております。しかしながら、原油を中心とした原材料価格の高騰やサブプライムローン問題による世界経済の不安定化、国内では少子高齢社会の進展など、様々な課題があります。また、国と地方のあり方を大きく変える地方分権をめくっては、将来の道州制も視野に置きつつ活発な論議が進められておりますが、国からの本格的な権限や税財源の移譲は未だ道半ばであります。



このような時期であるからこそ、県政の推進に当たっては、まずは足元を固めることが大切であり、県民の皆様の安心、安全にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。健康や福祉、教育の充実といった県民の皆様共通の願いに、着実にお応えしてまいりたいと思っております。このような県民福祉の向上を図るためにも愛知の活力の源となる産業を一層強くする必要があります。愛知の強みである「モノづくり」の基盤強化にしっかりと取り組むことはもちろんのこと、農林水産業の振興にも力を注いでまいります。

さらに愛知万博の成果を継承し、世界に開かれた愛知をめざして、C O P 1 0（生物多様性条約第十回締約国会議）やA P E C（アジア・太平洋経済協力）首脳会議などの国際会議の誘致、国際的な芸術祭の企画の具体化などにも取り組んでまいりたいと考えております。

また、県民サービスの向上をめざし、地方機関の見直しを行うとともに、着実に行財政改革の歩みを進めたいと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。本年が、皆様方にとりまして、素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

平成二十年元旦

ドバイ海外研修を終えて

1月21日より25日まで新産会恒例海外研修に急造団長として総勢9名で中東の星ドバイへ行って来ました。詳しい内容等は三浦幹事の別文に譲りますが（別紙のレポートを参照して下さい）、ドバイが非常に短期間であそこまでの発展を遂げることができた理由はサウジ、クウェート等の近隣産油国に比しての埋蔵量に対する危機感と統治者の明確な戦略及び非常に強いリーダーシップによるものと思います。危機感、戦略、強いリーダーシップどれも企業経営で不可欠なものばかり。またトラブル無く全員帰国でき非常に良い研修となりました。

（16期 山口昭彦）

次年度（平成20年度）会長立候補届け出結果について

前月（12月）号で告知しました会長立候補の届け出は、12月21日（金）をもって締め切りました。その結果、届け出はありませんでしたので、1月15日に開催される理事会において候補者を選出することとなりました。